

保守・エンジニアリング情報

保守・エンジニアリング情報

教育

保守/設備を守る

診断/設備を診る

3kV電動機絶縁診断技術

油入変圧器寿命診断技術

バッテリー余寿命診断技術

回転機絶縁診断車

高低圧遮断器劣化診断技術

遮断器現地オーバーホール

受変電設備総合診断

パンタグラフすり板測定装置
(超音波式)

高圧ケーブル活線診断

監視/設備を監視する

O&M/設備を維持する

再生/設備が蘇る

プラント/プラントを創る

安全/安全・安心を支える

環境/環境・省エネ

一覧で見る

キーワードから探す

お問い合わせ

バッテリー余寿命診断技術

バッテリーの劣化状態を診断し、
保全計画を提案します。



▼ 概要 ▼ 特長 ▼ 技術内容

概要

充放電の繰り返しにより劣化が進んだ二次電池は、内部抵抗が増加します。さらに、内部セル短絡などによる電圧低下や、寿命末期のバッテリーでは自己発熱が原因で「発煙」に至る場合もあります。点検により蓄電池の健全性を確認して、不意の停電に備えておくことが設備の連続稼働において重要な事です。

[ページトップへ](#)

特長

- 1 短時間定格電流の通電による放電時の電圧変化にて容量の低下が確認できます。
- 2 装置運用中に測定可能です。

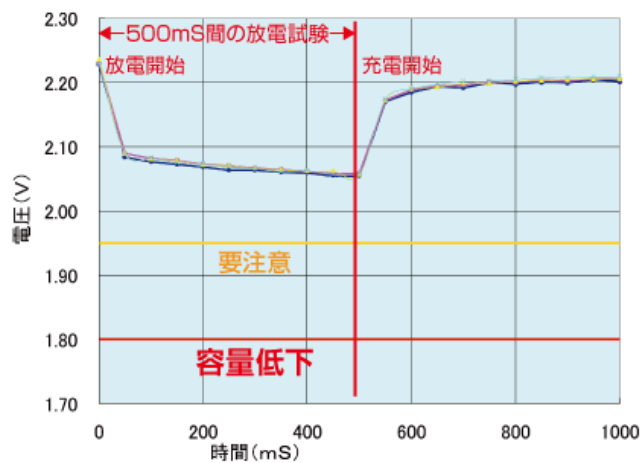
[ページトップへ](#)

技術内容

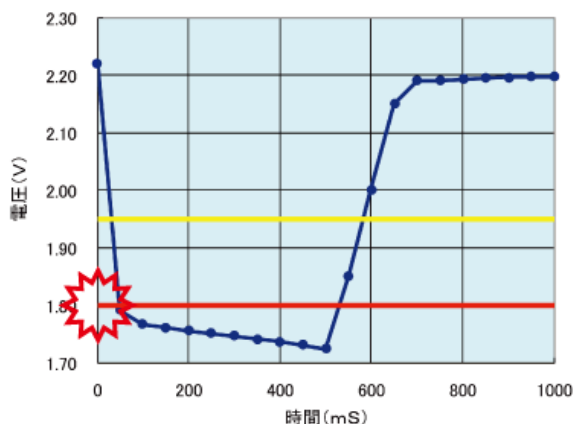
- ・蓄電池単セルに0.5秒間の短時間放電を行いその間のセル端子電圧を測定しますので、負荷設備への影響はありません。
- ・放電量が蓄電池容量に対して極めて小さいため蓄電池への影響もほとんどありません。
- ・計測器は誤接続に対する安全配慮もされています。



放電特性 (500mSの放電と回復充電電圧)

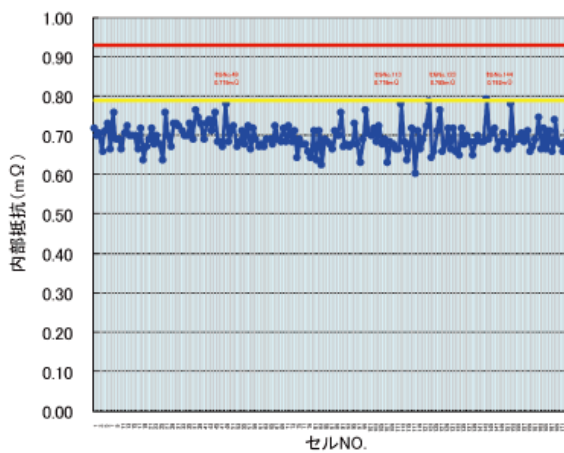


放電特性 (容量低下の場合)

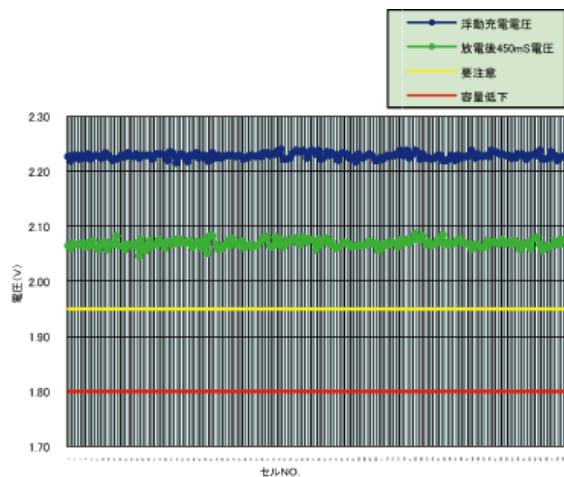


報告書、提案書等でデータをグラフ化して提供します。

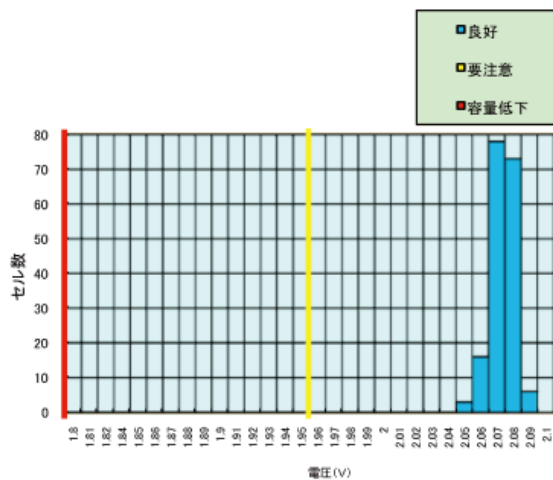
内部抵抗



バッテリー端子電圧



バッテリー放電電圧分布



バッテ リNO	製造 年月	設定電 流(A)	実電流 (A)	浮動 電圧	50mS 電圧	100mS 電圧	150mS 電圧	200mS 電圧
74	204	150	149	2.231	2.108	2.102	2.096	2.092
75	204	150	149	2.238	2.102	2.095	2.090	2.082
76	204	150	149	2.239	2.111	2.101	2.095	2.090
77	204	150	149	2.222	2.093	2.083	2.080	2.075
78	204	150	149	2.222	2.099	2.091	2.085	2.083
79	204	150	149	2.223	2.099	2.088	2.085	2.083
80	204	150	149	2.230	2.108	2.096	2.094	2.091
81	204	150	149	2.236	2.106	2.100	2.094	2.093
82	204	150	149	2.235	2.101	2.090	2.086	2.082
83	204	150	149	2.234	2.099	2.091	2.085	2.082
84	204	150	149	2.237	2.111	2.103	2.096	2.095

[ページトップへ](#)